

## 1 点検・評価制度の概要について

### 1. 趣旨

本報告書は、市教育委員会が効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき平成21年度の富津市教育委員会に属する事務の管理執行の状況について、学識経験者の知見を活用した総合評価を行った結果について報告するものです。

#### 【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2. 目的

教育委員会制度は、合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本の方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育的行政事務を執行するものです。

このため、事前に立てた基本方針に沿って具体的な教育行政が執行されているか、教育委員会自らが事後にチェックするとともに、地域住民に説明責任を果たし、その活動を充実することが求められています。

そのために点検・評価を実施し公表するものです。

### 3. 対象事業

- ① 教育委員活動
- ② 安全・安心な施設
- ③ 学校教育の振興を図るための各種助成制度
- ④ 子どもたちのよりよい成長と学校づくり
  - ・心豊かでたくましい児童・生徒の育成

- ・確かな学力を身につけた児童・生徒の育成
- ・児童・生徒の成長を支える教育力の高い学校づくり
- ⑤ 学びから生きがいを、生きがいをまちづくりに（生涯学習）
- ⑥ 複合施設建設推進
- ⑦ 公民館・市民会館活動
- ⑧ その他

#### **4. 学識経験者の知見の活用**

点検・評価について客観性を確保する為に教育に関し学識経験を有する者の知見を活用しました。

#### **5. 評価については、3段階(A・B・C)で表わしています。**

- A：施策目的の達成に向けて順調に進んでいる
- B：施策目的の達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある）
- C：施策目的の達成に向けて困難な課題がある

#### **6. 学識経験者の評価は、各課等の最後に記載しています。**

<b>2 教育委員会会議</b>	<b>項目(1)</b>
------------------	--------------

<b>(1)</b>	<b>教育委員の活動</b>	<b>評価</b>	<b>A</b>
------------	----------------	-----------	----------

### 1. 平成21年度取り組み目標

教育改革の動向を踏まえつつ「千葉県教育の戦略的なビジョン」を参考に重要な方針や方向性を決定していく。さらに地域ニーズの把握とそれに応えるべき現場重視による富津市の教育行政の推進を図る。

具体的には、

定例教育委員会会議の活発化

情報の相互提供

議論の活発化

学校訪問

各種研修会等への積極的な参加

### 2. 取組の実施状況

- 4月23日 定例教育委員会会議開催
  - ・義務教育諸学校（市立小学校及び中学校）の教科用図書の取扱い方針を定めることについて
  - ・報告事項
- 5月26日 平成21年度千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会
- 5月28日 君津地方教育委員会連絡協議会総会
  - 定例教育委員会会議開催
  - ・富津市学校評議員の委嘱について
  - ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱について
  - ・富津市社会教育委員の任命について
  - ・平成21年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出6月補正予算について
  - ・報告事項
- 6月25日 定例教育委員会会議開催
  - ・富津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・報告事項
- 6月30日 学校訪問（青堀小学校）
- 7月 2日 臨時会開催
  - ・富津市教育委員会委員長の選任について

- ・富津市教育委員会委員長職務代理者の指定について
  - ・議席の指定について
  - ・平成21年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出7月補正予算について
  - ・協議事項
- 7月30日 定例教育委員会会議開催
- ・報告事項
- 8月20日 定例教育委員会会議開催
- ・平成21年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出9月補正予算について
  - ・報告事項
- 9月24日 定例教育委員会会議開催
- ・報告事項
- 10月23日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第1回教育委員研修会
- 10月29日 定例教育委員会会議開催
- ・報告事項
- 11月7日 学校訪問（大貫小学校）
- 11月19日 定例教育委員会会議開催
- ・平成21年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出12月補正予算について
  - ・富津市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・報告事項
  - 学校訪問（佐貫小学校）
- 11月26日 臨時会開催
- ・富津市学校給食調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・報告事項
  - 学校訪問（佐貫小学校、佐貫中学校）
- 12月25日 定例教育委員会会議開催
- ・富津市学校医の委嘱について
  - ・富津市教育委員会表彰規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・富津市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・平成21年度富津市教育委員会被表彰者の決定について

- ・報告事項
- 1月27日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第2回教育委員研修会
- 1月28日 定例教育委員会会議開催
  - ・平成22年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出予算について
  - ・富津市学校給食調理場管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
- ・報告事項
- 1月31日 富津市教育委員会表彰式
- 2月5日 学校訪問（竹岡小学校）
- 2月18日 定例教育委員会会議開催
  - ・教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・鳥海奨学基金条例を廃止する条例の制定について
  - ・富津市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・富津市社会教育指導員に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・富津市家庭教育指導員に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・富津市公民館及び市民会館に勤務する職員の週休日等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
  - ・平成21年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出3月補正予算について
  - ・平成21年度末退職教職員に対する富津市教育委員会感謝状の贈呈について
- ・報告事項
- 3月26日 定例教育委員会会議開催
  - ・富津市学校医の委嘱について
  - ・富津市学校歯科医の委嘱について
  - ・富津市学校薬剤師の委嘱について
  - ・富津市社会教育指導員の任命について
  - ・富津市家庭教育指導員の任命について
  - ・富津市文化財審議会委員の委嘱について
  - ・富津市スポーツレクリエーション推進員の委嘱について
  - ・富津市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改

- 正する規則の制定について
- ・富津市生涯学習バス利用規程を廃止する訓令の制定について
- ・富津市生涯学習バス利用規則の制定について
- ・富津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
- ・富津市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定について
- ・富津市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について
- ・報告事項

各定例会議を含め運営も順調であり、情報提供・議論の活性化も図れた。また研修会への参加や学校訪問も積極的に行い現場情報の収集に努めた。

### 3. 今後の課題と対応

教育委員会の形骸化が議論されているが、その理由として、「通達・通知等で国（県）の方針が決まっている為議論する意味がない。」「教育施策に議論の余地がない」「議論の為の情報不足」などがいわれている。

しかしこれらの問題は制度的な問題でもあるので、教育委員の意欲、使命感、自己啓発等の充実により教育委員会活動の活発化（充実）を図る。またそのために事務局からあらゆる機会を捉え情報提供をする。

#### 外部評価者（I）の意見

評 価	A
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に沿って活潑な活動が実施されている。</li> <li>・地域ニーズの把握に重点を置き、形骸化の打破を更に推進し、国・県の通知・伝達機関のみならず富津市ならではの教育行政の活発化（充実）を図ってほしい。</li> </ul>

## 外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会議については、会議の大半は事務局より提出された議案の追認と報告事項で、議論がどの程度かわかりにくい。</li> <li>・ 情報の提供は、事務局において各学校等で実施した結果を受け、現場の意見を教育行政に反映させるよう努力がほしい。</li> <li>・ 学校訪問を積極的に行うことは学校現場の状況や地域の特色など把握するため大変有意義であると思われる。</li> <li>・ 学校訪問を積極的に実施するため年次計画を設定し定例会議終了後、学校訪問を行うことにより学校長をはじめ現場の教職員とこの機会をとらえ、意見交換するなどにより教育委員の活動が活発となり情報収集や地域の特色性の把握などにより、議論も行われるものと思われ、又教育委員自からの意欲、使命感等の充実が図られるものと思われ、ここに要望する。</li> <li>・ これからも、市教育行政推進のため更なる目標に向かって最大の努力をご期待する。</li> </ul>	

### 3 庶務課 項目(2)

(2)	安全・安心な学校施設	評 価	A
-----	------------	-----	---

#### 1. 施策の基本的な考え方

学校施設は、児童生徒等にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、安全・安心な学校施設の整備を図る。

(施策の基本的な考え方に対応した指標)

#### 耐震補強

目標項目	目標の内容	実施（21年度）	達成状況
耐震診断	優先度上位の校舎等 吉野小学校（体育館）・湊小学校（普通教室棟、管理・特別教室棟）・竹岡小学校（体	青堀小学校（体育館）・飯野小学校（体育館）・大貫小学校（普通教室棟、普通特別教室棟、体育館）・吉野小学校（増築棟、体育	目標を超えて全校舎等の耐震診断完了

	育館)・環小学校(体育館)・佐貫中学校(管理・普通・特別教室棟、体育館)	館)・佐貫小学校(管理・特別教室棟、渡り廊下棟、体育館)・湊小学校(普通教室棟、管理・特別教室棟、体育館)・竹岡小学校(普通教室棟、管理・特別教室棟、体育館)・金谷小学校(普通教室棟)・環小学校(体育館)・佐貫中学校(管理・普通・特別教室棟、体育館、技術室棟)・天羽中学校(技術室棟)・天羽東中学校(体育館)	
耐震設計	耐震診断で補強が必要と判断された校舎等 青堀小学校(普通教室棟・渡り廊下棟)・飯野小学校(普通教室棟、管理・特別教室棟)・天羽中学校(体育館)・天羽東中学校(管理・普通・特別教室棟)	青堀小学校(普通教室棟・渡り廊下棟)・飯野小学校(普通教室棟、管理・特別教室棟)・天羽中学校(体育館)・天羽東中学校(管理・普通・特別教室棟)	計画どおり 100%
耐震補強	耐震設計のすんだ校舎等から補強工事 佐貫小学校(普通教室棟)・天羽中学校(普通教室棟、管理・特別教室棟)	青堀小学校(管理・特別教室棟)・佐貫小学校(普通教室棟)・天羽中学校(普通教室棟、管理・特別教室棟)	目標を超えて青堀小学校(管理・特別教室棟) 前倒し実施

## 2. 施策展開の説明

### 耐震補強

平成18年度実施した優先度調査に基づき優先度上位校舎等より順次耐震診断、耐震設計、耐震補強と進め安全・安心な学校を目指した。平成21年度は、5校7棟の耐震診断を実施する予定だったが、経済危機対策関連事業



により、次年度以降に予定された全ての校舎等を行い計12校23棟の耐震診断を完了した。また、4校6棟の実施設計と青堀小学校管理・特別教室棟の耐震補強工事の前倒しを含め3校4棟の耐震補強工事が実施できた。

#### 地上デジタル放送への対応

平成23年7月の地上デジタル放送完全移行化に向けて、経済危機対策関連事業を活用し、市内小中学校全校の地上デジタル対応アンテナ設置工事及び、地上デジタルテレビを整備した。

### 3. 課題(今後の対応)

平成21年度は国の経済危機対策事業により、耐震診断未実施の全ての小中学校校舎等の耐震診断の実施及び青堀小学校特別教室棟の耐震補強工事を前倒して行うなど、当初の計画を大幅に上回ることができた。

しかし、大規模地震はいつ来るかわからない中で1日も早く耐震化を進めなければならない。そのためには、相当の費用を必要とするため財源の確保を積極的に進めていかなければならない。

#### 外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政苦しい中であっても、学校の安全・安心という点は、何をおいても一番に考えなければならない。計画の前倒し・計画を上回る工事等努力が伺える。</li> <li>・「学校」は大災害時の避難所ともなりうる場所ゆえ、一日も早い学校施設整備の充実をお願いしたい。</li> <li>・地上デジタル放送への対応も整備できた点、良かった。</li> </ul>	

#### 外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい財政状況のなか、年度計画により順次実施予定の校舎等の耐震診断は、国の経済危機対策関連事業により、次年度以降予定の全ての校舎等を、また、実施設計は計画どおり完了、補強工事は目標を超えて前倒して実施するなど適正に対応されたことと思う。</li> <li>しかしながら、大地震はいつ来るかわからないこともあり、耐震補強工事の早期実施を進めると共に校舎の老朽化に伴う雨漏りをはじめとする小破修理について</li> </ul>	

も、財政事情は今後共厳しさが続くものと考えられるなか、積極的な財源確保に努め、事業の推進にあたり優先性、緊急性に配慮し、児童生徒が安全安心な環境のもとで学校生活ができるよう最大の努力をお願いしたい。

<b>4 学校教育課</b>	<b>項目(3)～項目(10)</b>
----------------	---------------------

<b>(3)</b>	<b>学校評議員事業</b>	<b>評価</b>	<b>A</b>
------------	----------------	-----------	----------

### 1. 平成21年度取組目標

地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開できるよう校長の求めに応じて、学校運営に関して意見を述べる学校評議員制度を全校で実施する。

### 2. 取組の実施状況

80名の方々に学校評議員を委嘱し、市内17の小・中学校で本制度を実施する。各学校とも年3回程度の会議を開催した。また、今年度、学校評議員研修会を実施し、学校評議員の役割と職務について周知を図った。

### 3. 今後の課題と対応

学校情報を地域に発信し、学校の説明責任を果たす一助として学校評議員が定着してきた。地域の学校に対する期待や評価が把握でき、今後の改善や教職員の意欲向上につながりつつある。今後も、学校評議員研修会を継続し、一層の質的向上を図りたい。

<b>(4)</b>	<b>私立幼稚園就園奨励事業</b>	<b>評価</b>	<b>A</b>
------------	--------------------	-----------	----------

### 1. 平成21年度取組目標

私立幼稚園の設置者が、保護者から徴収する保育料等を減額または免除する場合に、その設置者に対して補助金を交付し、保護者の負担の軽減を図り、幼児教育の振興を図る。

### 2. 取組の実施状況

市内に住所を有する保護者の子340名が通う、市内外の私立幼稚園7園の設置者に対し、補助金を交付した。

### 3. 今後の課題と対応

国庫補助事業であるが、国庫補助率の減少や近年の低所得世帯の増加により、市の支出負担割合がより一層多くなることが見込まれるが、保護者負担の一層の軽減等を図るため、幼稚園と情報を共有しながら予算確保に努めていきたい。

(5)	要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業	評価	B
-----	----------------------	----	---

#### 1. 平成21年度取組目標

経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、負担能力の程度に応じ学用品費・給食費・医療費等の援助を行い、経済的負担の軽減を図る。

#### 2. 取組の実施状況

準要保護児童85名、準要保護生徒58名、合わせて143名を認定し、学用品費・給食費・医療費等の援助を行った。  
なお、要保護児童・生徒の補助申請はなかった。

#### 3. 今後の課題と対応

申請方法等について簡素化の要望があり、検討及び見直しを行った結果、民生委員意見書の一部省略や申請書等の改善を図った。  
今後も必要に応じて改善を図っていく。

(6)	特別支援教育児童・生徒就学奨励事業	評価	A
-----	-------------------	----	---

#### 1. 平成21年度取組目標

特別支援教育が必要な児童・生徒の保護者に対し、負担能力の程度に応じ、学用品費・給食費等の援助を行い、経済的負担の軽減を図り義務教育の円滑な実施を図る。

#### 2. 取組の実施状況

特別支援教育児童・生徒38名を認定し、学用品費・給食費等の援助を行った。

#### 3. 今後の課題と状況

保護者の負担軽減を図るため援助を継続する。

(7)	学校給食事業	評価	A
-----	--------	----	---

### 1. 平成21年度取組目標

学校給食法で、学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的としており、年間（192日）の給食を実施する。

### 2. 取組の実施状況

地産地消を進めるとともに、農薬残留等の危険性のある食材の排除の徹底を図り安全安心な学校給食を実施するため、給食費を小学校月額 4,600 円、中学校月額 5,700 円に改定した。食材は可能な限り国産品を使用し、さらに地産地消の推進に努めた。また学校給食衛生管理基準に照らし、共同調理場 3ヶ所、単独調理場 3ヶ所の調理員及び受配校の配膳員の研修を実施した。

現年度の給食費滞納(過年度分も含む)に関しては、給食係、教育部管理職による夜間・休日を含めた滞納者への訪問によりその回収に取り組んでいる。

### 3. 今後の課題と対応

児童生徒が健全な食生活を自ら営むことができる知識及び態度を養うため「学校給食における食育の推進」を図る。また、給食費の滞納については、その解消に向けて取り組み方法を工夫しながら継続して取り組んでいきたい。

(8)	学校給食管理運営事業	評価	B
-----	------------	----	---

### 1. 平成21年度取組目標

共同調理場 3ヶ所、単独調理場 3ヶ所にて、学校給食実施基準に照らし年間（192日）の給食を実施する。なお、児童・生徒の減少等に対応するため佐貫共同調理場を閉じ、大貫共同調理場への業務集約を年度末を目途に行う。

### 2. 取組の実施状況

共同調理場 3ヶ所（大貫、天羽、佐貫）の調理及び配送業務を民間に委託し実施。単独調理場 3ヶ所（青堀小、富津小、飯野小）は直営にて実施した。学校給食運営委員会の答申に基づいて議会の承認を受け、佐貫共同調理場の業務を 22年度から大貫共同調理場に移管する。

### 3. 今後の課題と対応

児童生徒の減少及び用途廃止年数の経過した調理場については、安全安心を前提に計画的に統合等について検討する。また、大型備品について耐用年数の経過した物が多く、故障し維持管理費の増加がみられるので、計画的な更新が必要である。

(9)	児童生徒の安全・安心の確保	評価	B
-----	---------------	----	---

#### 1. 平成21年度取組目標

児童生徒の安全確保のため、学校と地域等が連携しながら交通安全、防災、防犯教育の充実や推進を図る。

#### 2. 取組の実施状況

各学校において、避難訓練、交通安全教室、防犯教室等を実施し、安全意識の高揚に向けて年間計画に基づき指導を行った。

また、通学路の定期点検や「子ども110番の家」への協力要請、子ども見守り隊などの地域防犯ボランティアによるパトロールも積極的に実施した。

さらに、危機管理マニュアルの点検や刺股の設置、防犯ブザーやランドセルカバーの配布、教員研修、防災無線による呼びかけ等を行い、安全確保に努めた。

### 3. 今後の課題と対応

地域や関係機関の協力を得ながら、児童生徒の安全・安心の確保が図れた。今後は、児童生徒の主体的な活動を通して、危険予測や危険回避能力・防犯意識をさらに高めたい。

(10)	富津市小・中学校再配置構想	評価	B
------	---------------	----	---

#### 1. 平成21年度取組目標

富津市小・中学校再配置構想に基づき、少子化の状況や保護者・地域の要望等をふまえた検討を進める。

#### 2. 取組の実施状況

この再配置構想では、「子ども達に、より充実した教育環境を提供する」という基本姿勢のもと、保護者・市民と慎重に協議し、調整を図っていくものであり、調整が図れれば、実施計画を策定し、具体的な統合準備に移るこ

ととなっているが、今年度は、短期で示されている内容の中で、現に小規模化が進み複式学級のある関豊小学校と環小学校の統合の是非について両校の保護者・地域住民・教職員に富津市立小・中学校再配置構想について説明を行うとともに、意見の聴取を行った。

### 3. 今後の課題と対応

両校の保護者・地域住民の意見聴取や話し合いを継続して行い、富津市小・中学校再配置構想に基づいた検討を進める。

#### 外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校評議員制度も施行5年（本格実施2年）となり、子ども達の姿から成果・課題を評価し取り組んでいる点は良いと思う。</li> <li>・ 学校評議員を対象とした研修も取り入れて進めており、一層の質的向上につながると思う。更に地域と共に児童・生徒を育む体制を向上させてほしい。</li> <li>・ 佐貫共同調理場を廃止し、大貫共同調理場と統合とか耐用年数の経過した備品等の交換等、大変苦勞している中、子ども達の心身の健全発達のため、給食施設の改善 を早急に図ってほしい。</li> </ul>	

#### 外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内全校に評議員が設置されたことは、学校と地域が連携し相互に意見の場となり有意義なことと思われる。この会議の実施結果を各学校から提出願い精査検討のうえ活用できれば、それぞれの学校の地域性を把握でき、今後の教育行政に反映され、より一層質的向上に寄与することと思われる。</li> <li>・ 私立幼稚園就園奨励事業、要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業、特別支援教育児童・生徒就学奨励事業のいずれの事業についても、幼児又は児童生徒の保護者の負担軽減を図るための措置であり、財政状況が厳しいなかであるが possible の限り援助、支援が継続されることが望ましい。</li> <li>・ 給食費の滞納については、担当課において、その徴収について努力していますが、給食費は児童生徒に対する食事の提供の対価として受益者より徴収（学校給食法で保護者の支払い義務を定めている）しており、不公平が生じないよう未納者対策につき検討し、早期縮減に向けて努力願うことを要望する。</li> </ul>	

・児童生徒の減少及び調理場の老朽化により統合はやむをえないと思考されるが、耐用年数の経過後の施設備品は財政状況厳しいなかではあるが、更新計画策定のうえ継続的に実施できるよう財源の確保に努力されるよう要望する。

## 5. 教育センター 項目(11)～項目(13)

(11)	心豊かでたくましい児童生徒の育成	B
------	------------------	---

### 1. 施策の基本的な考え方

ふるさとを愛する心の育成と心身の健やかな成長に努める。

- ◎水と緑に囲まれた富津市の自然や風土を生かした学習の推進
- ◎心の教育の推進と長欠・不登校対策の一層の充実
- ◎体力・運動能力の向上と健康教育の推進

#### 【取り組みの視点】

- 自然・風土を生かした学習の推進
- 生命尊重、人権意識の啓発
- 望ましい集団活動の推進
- 地域人材の活用
- 健康・体力づくりの推進
- 問題行動の早期発見・早期対応

### 2. 施策展開の説明

#### 【市としての取組状況】

- (1) 地域を愛する子の育成
  - ・社会科副読本「わたしたちの富津市」の発行
    - ……小学3年生児童全員への配布。新学習指導要領に対応するため編集作業を継続する。
- (2) 積極的な生徒指導
  - ・サポートチーム会議運営事業
    - ……問題行動の状況によってサポートチームによる支援を実施している。
    - 平成22年3月現在で6件実施
  - ・自立支援指導員配置事業
    - ……自立支援指導員4名を6校に配置。教育相談・家庭訪問を実施。
- (3) 長欠児童生徒の解消
  - ・適応指導教室「さわやか教室」運営事業
    - ……適応指導教室通級状況（平成22年3月現在）
    - 7名通級（中学生6名・小学生1名）
    - 延べ通級者数 317名（登校434名）
  - ・不適応児童生徒を対象とした体験学習事業
    - ……ロープクライミング、校外学習、潮干狩り、高校説明会等を実施。

- (4) 教育相談の充実
- ・ 専門医による「はまかぜ教育相談」事業
  - ・ 教育センター教育相談事業
    - ……教育相談状況（平成22年3月現在）
 

はまかぜ教育相談	6回開催	相談者数 10人
教育センター相談	20件	
    - ……小学校へのスクールカウンセラー配置  
相談状況（平成22年3月末現在）のべ215件（保護者より相談）
- (5) 情報連携・行動連携
- ・ 長欠不登校対策会議の開催
    - ……年3回開催。情報交換・研修の充実を図った。中学校の生徒指導会議に指導主事が参加し、連携を図った。更なる情報交換、行動連携の充実が課題である。
  - ・ 富津市・君津市合同教育相談講座の開設
    - ……3月末現在 43回の指導実践

**【評価の参考になるデータ】**

- (1) 平成21年度運動能力証合格状況
- |        |      |         |
|--------|------|---------|
| 小学校合格率 | 431人 | (50.8%) |
| 中学校合格率 | 448人 | (34.7%) |
- (2) 平成21年度スポーツテスト結果
- |     |    |                                  |
|-----|----|----------------------------------|
| 小学校 | 男子 | 48項目中33項目が県平均を上回っている             |
|     | 女子 | 48項目中40項目が県平均を上回っている             |
| 中学校 | 男子 | 24項目中16項目が県平均を上回っている<br>2年生に課題多し |
|     | 女子 | 24項目中19項目が県平均を上回っている             |
- (3) 道徳実施状況
- |                 |     |      |
|-----------------|-----|------|
| 標準授業時数を満たしている学級 | 小学校 | 100% |
|                 | 中学校 | 100% |
- (4) 平成20年度・21年度長欠児童生徒状況
- | 長欠児童生徒  | 20年度 | 21年度         |
|---------|------|--------------|
| 小学校     | 9人   | 12人（前年比+3）   |
| 中学校     | 45人  | 50人（前年比+5）   |
| 準長欠児童生徒 |      |              |
| 小学校     | 30人  | 30人（前年比±0）   |
| 中学校     | 36人  | 22人（前年比-14人） |
- ※ 長欠…30日以上学校を欠席した者  
準長欠…15日以上29日以下の日学校を欠席した者



## 【成果と課題】

- 児童生徒の体力は、運動能力証の合格率やスポーツテストの結果から見ても良好な状態を維持している。それは、各校とも体力向上や部活動の充実を意識して指導を重ねてきた結果である。
- 各中学校区の小・中連携教育の中で「走ること」を共通で位置づけている学校が多いことも、体力向上の一助となっている。
- 道徳教育については、時数の確保はよくなされている。積極的な推進をしている学校もあり、今後も教材教具の開発などの実践を広めていってほしい。
- 各校の努力によって、本市の長欠気味の児童・生徒数は平成14年度から減少傾向にある。この状況を維持するためにも「心の居場所となる学校づくり」「心の居場所となる教室づくり」が一層求められる。  
また、問題行動の早期発見や関係機関との連携による予防・対応に今後とも努める必要がある。
- 各校とも食育指導への関心は高まっており、食育指導員を活用した授業実践が積極的に行われるようになってきている。
- 地域の教育力を取り入れたり、地域の学習を進めたりするなどの取り組みを一層充実させることが必要である。
- 地域学習への取り組み方について各学校で評価・改善の機会を設けたい。

(12)	確かな学力を身につけた児童・生徒の育成	B
------	---------------------	---

### 1. 施策の基本的な考え方

個に応じたきめ細やかな指導のもと、学ぶ意欲を引き出し、学力向上に努める。

- ◎基礎・基本の習得と活用力の育成を図る学習指導の推進
- ◎実態に応じたきめ細かな指導の推進
- ◎社会の変化に対応した教育活動の展開

### 【取り組みの視点】

- 授業改善の日常化      ○学習スキルの積み重ね      ○特別支援教育の推進
- 自然・風土を活かした学習の推進

### 2. 施策展開の説明

#### 【市としての取組状況】

(1) 現代的な課題への対応

- ・コンピュータ整備事業  
……児童生徒概ね1台は達成している。普通教室へのICT活用整備については、電子黒板の配置（各学校一台）、校内LANの整備は平成21年度中に終了した。
- ・外国語指導助手（ALT）配置状況

……ALT 3名（中学校2名・小学校1名）を配置。今後、小学校英語活動の充実に資するため、天神山小学校において、文科省・県の指定を受けて研究実践を行っている。

(2) 学力向上推進委員会

- ・全国学力・学習状況調査の分析と活用
- ・教職員の資質向上に向けた具体的方策の作成  
……市の学力状況の分析を行い、7月に「中間まとめ」を行った。各教職員の取り組みについて自己評価をお願いしている。その結果をもって今後の取り組みについて学力向上推進委員会で検討を進めたい。

(3) 教育課程の改善の評価

- ・教育センター教職員研修事業  
……夏期研修講座として37講座を開設。延べ231名の教員が参加した。他にも、管理運営研修会等の研修事業を実施。  
参加者の増加が図れるよう、講座の内容の充実に努めたい。
- ・教科指導員、食育指導員、コンピュータ活用専門員  
……教科指導員7名委嘱 延べ要請回数38回（指導主事等含む）  
食育指導員7名委嘱 延べ要請回数43回

**【評価の参考になるデータ】**

(1) 平成21年度千葉県標準学力検査結果

- ・小学校においては、概ね県平均である。社会・理科は、総じてよくできているが、国語、算数は全学年の学習の定着に課題がある。
- ・中学校は、全学年とも県平均を下回った。特に、数学・英語に課題がある。

(2) 平成21年度全国学力・学習状況調査結果

- ・小学校は、総じて全国平均との差が縮まった。知識問題よりも活用問題に課題がある。
- ・中学校は、総じて全国平均を下回った。国語よりも数学に課題が多い。
- ・小中学校共に無回答率は高く、記述問題を回避する傾向が続いている。

- (3) 特別支援教育コーディネーターの設置率 100%  
特別支援校内支援委員会の設置率 100%  
巡回指導員実施率 100%  
障害のある児童生徒の個別指導計画作成率 100%

(4) 小学校英語活動実施状況（平成21年度実績）

- ・学年別実施率 高学年 100%

**【成果と課題】**

○富津市小・中連携教育推進委員会でも重点課題として「学力向上」を掲げる等、市内の学校全体に「学力の向上」の機運が高まってきた結果、職員の意識も向上している。

○小学校の外国語活動への対応は進んでいる。

○保護者や児童・生徒も学校の授業について、概ね満足感を示している。

- 千葉県標準学力検査の結果からは、学年が上がるにつれて下降傾向にある点が課題である。
- 基礎学力の向上の成果は認められるが、体験学習や問題解決学習をととした思考力・応用力・活用力の育成にはまだ課題がある。
- 主体的な学び手の育成が求められている。平成21年度全国学力・学習状況調査の結果でも、小6・中3ともに家庭学習の時間は県や国と比較しても課題がある。効果的な宿題の出し方や「家庭学習の手引き」の作成等各校での工夫が見られるが、今後も継続して取り組んでいく必要がある。

<b>(13)</b>	<b>児童・生徒の成長を支える教育力の高い学校づくり</b>	<b>B</b>
-------------	--------------------------------	----------

### 1. 施策の基本的な考え方

魅力溢れる教師集団を築き、地域から信頼される特色ある学校づくりに努める。

- ◎小・中連携教育の推進
- ◎地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進
- ◎安心して学べる環境づくりと教職員の資質の向上

#### 【取り組みの視点】

- 教育課程の改善と評価
- 学校組織マネジメントの推進
- 学校課題の追求
- 危機管理・安全体制の見直し

### 2. 施策展開の説明

#### (1) 小中連携教育の推進

- ・中学校区内による相互授業参観・相互授業交流
  - ……中学校区における相互授業参観・相互授業交流は、年々活性化している。教育センター便り「はまかぜ」にて授業公開情報をまとめ、中学校区を超え相互授業参観の活性化を図った。
- ・小中学校を貫く教育課程の編成
  - ……各中学校区で取り組んでいるが、取り組みの差があり今後の課題である。
- ・小中一貫した目標化・共通実践化
  - ……8月に小中連携教育推進委員会地区別研修会を実施し、各地区での共通理解を図った。年2回の小中連携教育推進委員会によって、各中学校区の活動の活性化を図った。

#### (2) 特別支援教育支援事業

- ・特別支援教育連絡協議会の開催
  - ……年3回開催。庁内関係部局を含む相談活動の組織化・活性化を図った。今後、教育相談の啓発を更に行いたい。
- ・特別支援教育推進チームによる巡回訪問

- …… 1学期に全校の巡回訪問を実施。児童・生徒の実態把握を進めることができ、実態に応じた支援に努めた。
- ・特別支援教育指導員
  - ……特別支援教員のニーズは増加の傾向にあり、より充実した教育のために増員を図っていきたい。

### 【評価の参考になるデータ】

(1) 教育ミニ集会実施状況（平成22年3月現在）

17校実施（実施率100%） ※平成20年度100%

(2) 学校評価実施状況（平成22年3月現在）

- ・教職員による学校経営評価実施率 100%
- ・保護者による学校評価実施率 61%
- ・外部評価実施率 0%

(3) 地域に対する意識

地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。

小学校 83.3%（千葉県平均73.0% 全国平均81.9%）

中学校 80.0%（千葉県平均73.8% 全国平均77.7%）

P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。

小学校 100%（千葉県平均98.1% 全国平均81.9%）

中学校 80.0%（千葉県平均94.0% 全国平均92.5%）

### 【成果と課題】

- 学校公開、授業参観、ミニ集会等を通して、学校を理解していただくという工夫が各校ともよくなされている。
- 学校便り・学年便り・学級便り等を通じて、積極的な学校の情報公開が継続的に行われている。
- 学校評価が義務付けられたことにより、各校とも評価方法を工夫し、それを学校経営に生かそうとする努力が見られる。
- 内部評価だけではなく、保護者や児童生徒からの評価を実施し、総合的に学校経営を診断しようという意識が高まっている。
- 各校とも、特色ある学校づくりに取り組み、それぞれの成果をあげている。更に、その成果を還流し、成果を共有できるようになれば、本市の教育の充実が図れる。
- 新学習指導要領の改訂に伴い、新しい教育課程についての研修意欲は向上している。教育センター主催の研修講座にも多数の研修希望者が認められた。
- 小中連携教育の取り組みについては7年目を終え教職員に浸透している。特に「学力向上」という取り組みの柱を意識した各校の実践が継続して行われている。
- 各校とも学校施設の管理・充実がなされている。定期的な安全点検の実施、下校時の安全確保等、児童生徒の安全がよく配慮されている。

- 夏季研修講座の延べ参加率を見ると学校間の格差が大きい。学校事情もあろうが、絶えず研究と修養に努める教職員を育成したい。
- 実践のまとめを視野に入れながら小中連携教育への取り組みの成果を各中学校区でさらに整理していく必要がある。
- 各校の評価項目と学校教育の指針との関連を明確にできるよう考えていきたい。

#### 外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価が義務付けられ、外部評価を取り入れる等、各校とも評価方法を工夫し、学校経営に生かそうと努力している。</li> <li>・小中連携教育は、小中から高校まで連携が進んでいるところもあり、地域の教育力を活用し、学力・郷土愛を目指す授業を展開している学校もある。</li> <li>・素直に学ぶ学習態度をも、「学力」ととらえ、富津の子どもの学ぶ意欲を引き出し、学力向上に努力している。また、学力向上が何らかの形で、17校共通実施として継続して行われることを期待している。</li> <li>・県学力テスト、全国学力・学習状況調査等分析対応がよくなされている。更に各校へのきめ細かな指導をお願いしたい。</li> </ul>	

#### 外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長欠児童生徒は減少傾向にあるが、原因の早期発見や予防・対応が急務であり今後も努める必要がある。</li> <li>・全国及び県の学力検査結果等につき、教育委員会に富津市の状況を提出願い教育委員との意見交換の場をもうけ学力向上のための改善策等の検討をする必要があるのではと思われる。</li> <li>・総合的には、多くの課題に取り組んでおり、それぞれ良く対応していることに評価できる。</li> </ul>	

<b>6. 生涯学習課</b>	<b>項目(14)～項目(25)</b>
-----------------	----------------------

(14)	<b>社会教育指導員設置事業 家庭教育指導員設置事業</b>	<b>評価</b>	<b>B</b>
------	------------------------------------	-----------	----------

### 1. 平成21年度の取組目標

社会教育の生涯学習関係事業や公民館事業について、社会教育指導員2名、家庭教育指導員1名により指導、助言を行い社会教育・生涯学習や家庭教育に関する相談や社会教育団体の育成等にあたる。

### 2. 取組の概要

社会教育指導員2名が、公民館・市民会館の主催事業等に積極的に関わり、市民サービスの向上に努めるとともに、館運営にも適時アドバイスを受けることができた。また家庭教育指導員1名が、家庭教育学級等の運営についての指導・助言を受けることができた。

### 3. 今後の課題と対応

本市の社会教育指導員の定数は6人以内、家庭教育指導員の定数は3人以内とされている。現状は合わせて3人の指導員の努力で補われているが、市民サービスのさらなる向上のためには、今後指導員の体制等も含めて部全体で検討したい。

(15)	<b>生涯学習推進事業関係事業</b>	<b>評価</b>	<b>B</b>
------	---------------------	-----------	----------

### 1. 平成21年度の取組目標

富津市生涯学習推進計画により各種の事業を推進し、市民が生涯学習に参加することにより生活の質や能力を向上させ、結果として市の活性化やまちづくりに寄与する。

このことから「学びから生きがいを 生きがいをまちづくりへ」を基本理念に「だれでも、いつでも、どこでも」学べる生涯学習の機会拡充を図るため富津公民館において生涯学習推進大会を実施するなど、各種事業を展開する。

### 2. 取組の概要

平成22年1月31日富津公民館において発酵学者で文筆家の小泉武夫氏を講師に招き、第10回生涯学習推進大会を開催し「食の安心安全とこれからの食生活」と題しての講演を行ったほか、生涯学習情報提供誌を17,500部作成し、市内全世帯と関係機関に配布したほか「ふつつ教育かわら版」で

も周知を図り、一人でも多くの市民が生涯学習に関わることができるよう努めた。

また、多様化する生涯学習への要求に応えるため、人材バンク「まちの先生」登録制度の利用を促進し、優れた知識・技術を有している人々に登録をしてもらい、市民が有効活用できるように努めた。

### 3. 今後の課題と対応

生涯学習推進大会は内容を充実させ市民にホームページや地元紙、広報紙、広報車などを通じてPRを行い、参加者の増加を図った。人材バンク「まちの先生」も十分に活用されていないのが現状であるので、今後「公民館だより」などを活用し、より一層のPRに努めていきたい。

なお、現在の生涯学習推進計画と市の基本計画の計画年度に1年のずれがあるため、次期計画を平成23年度からの生涯学習推進計画とし、市の基本計画と合わせて実施する。

(16)	家庭教育支援事業	評価	B
------	----------	----	---

## ・家庭教育の充実

### 1. 平成21年度の取組目標

小・中学校の保護者が主体的に、家庭教育や親子のふれあい活動を実施することにより、家庭を中心とした子どもたちの健全育成及び家庭教育力向上を図る。

### 2. 取組の概要

家庭教育の重要性を認識し、小・中学生の保護者や子どもを対象に、家庭教育学級を5小学校と1中学校で開設し、社会教育指導員や家庭教育指導員のほかに地域に密着した講師を招くなどして、家庭教育に対する知識の習得に努め親子のふれあいとそこから生まれる良好な人間関係を学ぶことができた。

### 3. 今後の課題と対応

市内には17小・中学校があるので全ての学校で家庭教育学級を実施したい。

また、いかにより多くの保護者の方に興味を持ってもらい参加していただけるか内容の見直しやPR方法も検討する。特に父親の参加を促したい。

(17)	<b>視聴覚教育の振興事業</b>	<b>評価</b>	<b>A</b>
------	-------------------	-----------	----------

### 1. 平成21年度の取組目標

現代社会において、児童からお年寄りまで視聴覚教材の活用は必要不可欠となっており、それらを視聴覚教材センターで一括管理し、継続して活用することにより視聴覚教育の推進を図る。

### 2. 取組の概要

視聴覚教材センターで保管している16ミリフィルム・ビデオテープ・DVD等を貸出し、利用促進を図るとともに、視聴覚教材の普及活用のため、16ミリ映写機操作資格者を育成する目的をもって操作技術講習会、操作許可者を対象とした研修会をそれぞれ実施することができ、視聴覚教育の振興を図ることができた。

### 3. 今後の課題と対応

貸出し利用者数が減少傾向にあるため、利用者数の増加を図るため広報・情報提供誌・教育かわら版や市のホームページ等でPR活動に努めるほか、学校、保育所等に利用を働きかけるとともに16ミリ映写機操作資格者の増加も図っていききたい。

(18)	<b>青少年健全育成関係事業</b>	<b>評価</b>	<b>A</b>
------	--------------------	-----------	----------

### 1. 平成21年度の取組目標

子ども会や青少年相談員等の協力により、スポーツ・レクリエーション、ボランティア等の体験活動を実施し、次代を担う青少年の健全育成に努める。

### 2. 取組の概要

#### (1) 子ども会育成連絡協議会活動

子ども会活動及び組織の充実を図るため、各種の子ども会行事をはじめ、ジュニアリーダー研修会・育成者講習会を実施し、子ども会活動の充実が図れた。

また、平成19年度より市主催のジュニアリーダー初級研修会に助成金を交付し、参加者の負担減に努めている。

#### (2) 青少年相談員連絡協議会活動

71名の青少年相談員を中心に、青少年のつどい大会、文化祭の協力（な



んでもヤリーナ 20 分・模擬店)、新年子ども大会、キャンプ大会、研修会等の事業を実施し、青少年健全育成活動の推進が図れた。

### (3) 青少年問題協議会活動

行政・学校及び各種市民団体代表が集まり、青少年問題とその対策について、警察や学校で把握している事例を中心に協議を行い、その結果を各種団体が活用することにより青少年の健全育成に努めることができた。

### (4) 子どもセンター設置事業

子どもの地域における様々な体験活動を充実させ、家庭教育を支援する体制を整備するため、体験活動の機会や家庭教育の支援に関する情報を収集し、子ども・体験・ボランティア情報誌を発行することができた。

## 3. 今後の課題と対応

若い世代の減少により青少年相談員等の任期満了に伴う、委員の人選に苦慮している。

青少年相談員や子ども会等の人材育成を図り、地域教育力を高め、学校・家庭・地域連携による青少年健全育成を進めていきたい。

(19)	図書館関係事業	評価	B
------	---------	----	---

### 1. 平成21年度の取組目標

市民のリクエストなどを参考に選書して、市内各読書施設等への新刊図書購入及び移動図書館車の巡回運行により、より充実した図書館運営を図る。

### 2. 取組の概要

市内を3地区に分けて、毎月6回の運行により、16ステーションを月1、2回の割合で移動図書館車の巡回サービスを実施した。

また、昨年度更新した移動図書館車は今までより積載能力が300冊増の2,800冊となり、サービスが向上している。本年度の書籍等の平成22年3月末日現在の購入冊数は1,039冊であった。

内訳としては、移動図書館に247冊・富津公民館に314冊・中央公民館に232冊・市民会館に246冊をそれぞれ配本した。

### 3. 今後の課題と対応

富津市には公立図書館が無いいため市内各読書施設で市民が必要となる資料

に対応できない事もあり近隣市の図書館で借りている状態である。

また、必要な図書を探すときに図書検索システムが導入されていないので、職員の勤務時間内の電話による問い合わせしかできない状況である。

このようなことから現在、図書館を含めた複合施設の建設の中で図書検索システムの導入も含めた各種サービスが検討されているが、市民サービスの観点からできるだけ早期に現状下での図書検索システムの導入を図りたい。なお、現状の施設では蔵書の収容限度を迎えているため書庫を確保することも必要となってくる。

また、富津市は市域も広く高齢化率も高いため、移動図書館車によるステーションの見直しなどを検討しきめ細やかな市民サービスに努めたい。

(20)	文化財保護関係事業	評価	B
------	-----------	----	---

## 1. 指定文化財管理費補助事業

### (1)平成21年度の取組目標

市内にある指定文化財の所有者・管理者等に対し維持管理費を助成して、指定文化財の保護・保存を図る。

### (2)取組の概要

県および市指定文化財の22件に対し、指定文化財の規模や面積、管理の力量に応じて、維持管理費用の一部助成を予算の範囲内で行った。

区 分	名 称
県 指 定	三柱神社本殿など5件
市 指 定	三条塚古墳など17件

### (3)今後の課題と対応

それまで一部を除いて一律に支給されてきた指定文化財補助金について、平成19年度に指定文化財の規模や管理の力量に応じた助成額の見直しを図った。しかしながら、古墳や横穴群など規模・面積の大きい文化財は、樹木伐採・草刈など維持管理に要する労力も大きく、その作業量に見合った補助金を支給しているとは言い難い。文化財の内容によっては補助金の増額が必要である。

## 2. 文化財周知板設置事業

### (1)平成21年度の取組目標

指定文化財に説明板を設置することにより、一般市民や史跡見学者へ内容

の周知を図る。

## (2)取組の概要

平成 21 年度には、老朽化に伴う下記の富津市指定文化財説明板 2 ヶ所の付け替えを行った。

北村角兵衛の墓（富津市花香谷 123・円龍寺）

白山神社の大スギ（富津市宝竜寺 447・白山神社）

## (3)今後の課題と対応

史跡周知板の設置については、個人所有などの理由により設置の必要が認められない一部のものを除いて、ほとんどのものへの設置が終了している。今後は、老朽化に伴う周知板の付け替え作業とともに、未指定でありながら重要度の高い文化財についても周知板の設置を検討していく必要がある。

## 3. 市文化財整備事業

### (1)平成21年度の取組目標

国指定・県指定史跡など市内の主要文化財に対して、樹木の伐採や草刈を実施するなど維持・管理を行う。

### (2)取組の概要

事業内容 内裏塚古墳群樹木伐採や飯野陣屋濠跡草刈及び樹木伐採を実施した。

### (3)今後の課題と対応

現在、内裏塚古墳の樹木伐採作業は二間塚共有地管理委員会に委託して行っており、今後も継続してゆく予定である。一方、飯野陣屋の土塁の樹木伐採は平成 21 年度まで NPO 法人「エコトピアほしな」が行ってきたが、次年度以降作業からの撤退が表明されている。平成 21～23 年度は緊急雇用創出事業の中で、飯野陣屋の樹木伐採に対応する予定であるが、それ以降の委託先について検討する必要がある。

(21)	市内遺跡発掘調査事業	評価	B
------	------------	----	---

### 1. 平成21年度の取組目標

埋蔵文化財が所在する土地に個人住宅等を建設する場合に、事前に発掘確認調査を実施して記録を作成し、遺跡の保存・活用を図る。また内裏塚古墳

群のような重要遺跡に対して範囲確認などの学術調査を実施する。

## 2. 取組の概要

平成 21 年度には、個人住宅建設に伴う植ノ台遺跡（第 6 次）の調査、および重要遺跡の確認調査として、内裏塚古墳群中の九条塚古墳の石室確認調査を国及び県補助事業により、富津市教育委員会の直営事業として実施した。調査成果は『平成 21 年度富津市内遺跡発掘調査報告書』（刊行部数 300 部）として刊行した。

## 3. 今後の課題と対応

市内には約 450 ヶ所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が所在し、住宅建設等の開発行為に際しては、つねに文化財保護との調整が避けられない。現行の補助金制度を活用しながら、個人住宅等の小規模開発に伴う確認調査に対応していく。

なお、当事業には組み込むことのできない市で実施する公共工事に伴う調査や、遺跡の有無について正確な情報を得るための試掘に対応できるよう事業化していきたい。また過去に行われた公共事業に伴う調査の出土品を整理し、調査成果を報告書にまとめ調査業務を完了させることが望まれる。

(22)	民間開発発掘調査事業	評価	
------	------------	----	--

### 1. 平成21年度の取組目標

埋蔵文化財が所在する土地に、民間開発が行われる場合、事前に発掘調査を実施して記録を作成する。

### 2. 取組の概要

平成 21 年度には、民間開発に伴う発掘調査は行われなかった。

### 3. 今後の課題と対応

市内遺跡発掘調査事業（補助事業）では対応できない営利目的の民間開発に伴う発掘調査を全額事業者負担によって実施する。調査面積・内容が市職員の事務量を超えているときには、民間調査機関によって発掘調査が行われる場合もあり、市は調査指導という立場で関与することになる。

(23)	史跡案内板設置事業(まちづくり交付金)	評価	A
------	---------------------	----	---

### 1. 平成21年度の取組目標

内裏塚古墳群見学者への便宜と地域の住民や児童生徒への周知を図るため、古墳群内および古墳群への経路を示した案内板を交通の要所に設置する。

### 2. 取組の概要

青堀駅の西口と東口に設置する内裏塚古墳群全体図入りの史跡案内板の原稿作成を行った。

### 3. 今後の課題と対応

内裏塚古墳群内は主要道路より一步入ると狭い街路が入り組んでおり、個々の古墳への経路がわかりづらくなっている。案内板・説明板の設置と合わせて、誘導標識の整備も必要である。

(24)	古墳案内人育成支援事業	評価	B
------	-------------	----	---

### 1. 平成21年度の取組目標

平成20年の「内裏塚古墳群マップ」の発行により、古墳群見学者が急増している。生涯学習課職員・ガイドボランティアが案内した人数は、平成20年度が約760名、平成21年度の見学者は約600名であった。今後もガイドボランティアとの連携を図り、古墳群の案内、普及に努める。

### 2. 取組の概要

本年度は予算を執行する事業は行っていないが、職員とガイドボランティアによる古墳群の案内、小学校への出前授業、講演会などを行っている。

### 3. 今後の課題と対応

各見学会では、まだガイドボランティアだけで独自に案内を行える状況ではなく、つねに生涯学習課職員が随行している状況である。また休日などは案内者の個人的負担も大きく、自宅から古墳群までの交通費の問題もあり、まちづくり交付金事業終了後もボランティアの活動を継続的に実施して行くためには、その体制の整備が必要になってくる。

(25)	高宕山のサル被害防止事業	評価	B
------	--------------	----	---

### 1. 平成21年度の取組目標

天然記念物「高宕山のサル生息地」を中心としたニホンザルを管理し、サルによる農作物の被害防止に努めて、地域住民の生活と野生動物との調和のとれた共存を実現する。

### 2. 取組の概要

平成 21 年度には、例年に引き続き、被害防止事業（電気柵の設置と補修、被害多発期の追い上げ、被害実態調査）、生態調査、個体数管理、環境改善事業を実施している。

### 3. 今後の課題と対応

今後は千葉県自然保護課が実施している「特定鳥獣保護管理計画」と歩調を合わせながら、これまで総花的であった当事業の在り方を見直し、指定地内の環境改善や生態調査に重点を絞ってゆく必要がある。

### 外部評価者（I）の意見

評 価	A
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習は、年々充実が図られている。更に「だれでも、いつでも、どこでも」学べる生涯学習の機会拡充を図るため、市民のニーズに即した事業を期待したい。</li> <li>・市民が有効活用できるよう、人材バンク「まちの先生」についても、更にPR方法を検討してほしい。</li> <li>・子どもたちの健全育成を図るため、家庭教育支援事業は重要かつ急務である。家庭教育力向上を図るために親子ふれあい体験・親子教室等、積極的な開設の推進をお願いしたい。</li> <li>・市の文化財保護については急を要する。文化財補助金の増額は必要である。失ってからでは復元が難しい。文化財周知板の設置ができ良かった。 更に、重要度の高い文化財にもお願いしたい。</li> <li>・市の各事業、いろいろなセクションから職員やガイドボランティアによる案内、小学校への出前授業、講演会を実施していることが素晴らしい。 是非とも体制の整備をし継続をお願いしたい。</li> </ul>

## 外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材バンク「まちの先生」は、優れた知識・技術を有している人々に登録してもらい、市民が有効活用できる制度であるがあまり活用されていない現状である。市民が登録されている方々を利用出来る体制づくりのため更なるPR活動により利用を高める努力を望む。</li> <li>・図書館がない富津市でも移動図書館車をはじめ市内各読書施設（公民館）で、唯一市民の読書意欲を満たしている現状のなかで、必要な図書を探すときの図書検索システム未導入はIT社会での対応の遅れであり、市民サービスの観点からも早期導入を図りたい。</li> <li>・文化財事業については、国県指定史跡をはじめ、内裏塚古墳群などを含め観光と一体となる環境整備を図るとともにPR活動やボランティア教育を積極的に推進し、県内外から多くの方々が訪れ、それがまちの活性化になるような体制づくりに努力願いたい。</li> </ul>	

## 7. 体育振興課 項目(26)～項目(29)

(26)	社会体育振興事業	評 価	B
------	----------	-----	---

### 1. 平成21年度の取組

市民が、いつでも気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことのできる各種イベントの検討や、生涯を通じたスポーツ振興の方策等について調査研究を行い当面する社会体育の諸問題について、特に生涯スポーツ振興の立場から研究討議し、体育指導委員の資質の向上を図った。

また、市民の健康と体力づくりを目的に、体育指導委員及びスポーツ・レクリエーション推進員の主導により行事を実施する他、国のスポーツ振興計画に基づき平成22年度までに全国の各市町村に1つは総合型地域スポーツクラブを立ち上げると言う目標が掲げられているため、佐貫地区に平成21年6月21日に設立準備委員会を立ち上げ平成22年度設立に向け準備を進めている。

## 2. 主な取組の概要

大会及び行事名	会場名	参加人員
富津市少年野球夏季大会	臨海野球場他	185
富津市教育長杯争奪少年サッカー大会	臨海陸上競技場	150
第27回F T S杯争奪少年剣道大会	総合社会体育館	141
第16回F T S杯争奪少年柔道大会	富津中学校武道場	236
「県民の日」記念第26回グラウンドゴルフ大会	佐貫運動広場	97
「県民の日」記念第26回バドミントン大会	総合社会体育館	290
第28回F T S杯争奪少年野球大会	臨海野球場他	185
第15回健康ウォークラリー大会	市民ふれあい公園	73
君津地区スポーツレクリエーション祭歩け歩け大会	富津公園	394
第9回富津市ふれあいスポーツフェスタ	市民ふれあい公園臨海陸上競技場他	4143
君津地区スポーツレクリエーション祭 (インディアカ・ソフトバレーボール・グラウンドゴルフ)	木更津市民体育館他	347
富津市教育長杯争奪少年野球新人大会	臨海野球場他	185
第34回ママさんバレーボール大会	総合社会体育館	204
第29回市民ハイキング	市民の森周辺	68
第39回元旦歩こう大会	富津・大佐和・天羽地区	423
第39回元旦マラソン大会	ふれあい公園	237
第39回新春バドミントン大会	総合社会体育館	236
第22回新春グラウンドゴルフ大会	佐貫運動広場	92
スポーツ教室(毎週水・土曜日)	総合社会体育館 佐貫小学校体育館	5702
第32回千葉県民マラソン大会	総合社会体育館周辺	2128

## 3. 今後の課題と対応

研修会や講習会を実施し新しい競技種目を取り入れ多くの方がスポーツに親しめるよう検討するとともに市民にホームページや地元紙を通じてPRを図り参加者の増加を図りたい。

佐貫地区に総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を立ち上げたが今後、設立後の運営にあたり人材確保などの諸問題がある。

(27)	ふれあいスポーツフェスタ事業	評価	B
------	----------------	----	---

## 1. 平成21年度の取組

市民の手づくりによる健康づくり、体力づくりを目的に新しい発想と視点



のもと実施する。

## 2. 取組の概要

事業名	金額(円)	事業内容	成果・効果	
			内訳	人数
ふれあいスポーツ フェスタ	1,527,369	第1部会：体力・血圧測定、ストラックアウト、ミニサッカー、ドッジビー、スピードガン 第2部会：グラウンドゴルフ、ドッジボール、輪投げ 第3部会：100m・800m・1000m・3000m・4×100m、ミニ駅伝、ソフトテニス、ゲートボール、卓球 第4部会：お楽しみ抽選	参加者	3,247
			大会役員	246
			観客	650
			合計	4,143

## 3. 今後の課題と対応

平成13年度より市民手づくりによるスポーツフェスタを実施しているが参加者が横ばいの状態のため実行委員会にて、今後のあり方について検討する必要がある。

(28)	市体育施設管理運営事業	評価	A
------	-------------	----	---

### 1. 平成21年度の取組

市民の心身の健全な発達と、明るく豊かな市民生活の形成に寄与し、市民の間にスポーツについての理解と関心を深め、かつ、積極的にスポーツをする意欲の高揚を図ることを目的として体育施設が設置されている。平成18年度より指定管理者制度を導入し財団法人富津市施設利用振興公社を指定管理者として管理を実施してきたが平成21年3月31日を持って指定期間が満了となり、平成21年度より新たに5年間を指定期間として財団法人富津市施設利用振興公社を指定管理者として体育施設の管理運営を実施している。

また、浅間山運動公園テニス場は、昭和60年に全天候型アスファルト系コートが4面整備されました。

しかし、整備されて24年が経過する中、老朽化が進んでいるため計画的に整備する。

## 2. 取組の概要

施設名		利用回数	利用人員	使用料 (円)
富津運動広場		84	1,762	142,030
新富運動広場		70	6,427	68,330
浅間山運動公園		234	1,189	テニス場 304,720
		112	5,854	野球場 512,920
総合社会 体育館	主体育館	433	51,884	1,437,920
	小体育館	533	7,782	922,820
	トレーニング ルーム	13	20	6,080
	会議室等	44	923	56,410
合計		1,523	75,841	3,451,230

浅間山運動公園テニス場全天候型アスファルト系コートが4面の内2面を全天候型人工芝に改修したほか、トイレについても汲み取り式から水洗トイレに改修した。

## 3. 今後の課題と対応

土日、祝祭日の利用者は多いが平日の昼間の利用者の増加を図る方が必要となる。市および指定管理者のホームページ、広報紙、地元紙を通じてPRを図り利用者の増加を図る。

浅間山運動公園テニス場全天候型アスファルト系コートの残り2面を全天候型人工芝に改修し利用者の増加を図る。

(29)	第65回国民体育大会推進事業	評価	B
------	----------------	----	---

### 1. 平成21年度の取組

昭和48年の若潮国体以来37年ぶりに開催される「ゆめ半島千葉国体」は、日本のトップ選手が一流の力と技を競い合う国内最大のスポーツの祭典である。

また、富津市で開催される軟式野球競技は広く国民に愛され親しまれてきた。このような意義深い大会を、各種団体、市民、競技団体、行政等の協働により、簡素な中でも温かみのある富津市ならではのおもてなしを実施するため、広く市民へ国体開催を周知し気運の醸成を図る。

一例として会場となる市民ふれあい公園や市役所等に啓発看板の掲示、市内公共機関、集客施設へののぼり旗の設置、ポスターの掲示、イベント時にチーバくんを活用した

啓発活動に取り組んでいる。

また、軟式野球会場5市と千葉県野球協会で構成する「ゆめ半島千葉国体軟式野球競技連絡協議会」で、競技運営面の諸問題等について定例的に協議を行っている。

## 2. 取組の概要

- 啓発用横断幕を臨海野球場に設置。横看板、広告塔をふれあい公園駐車場及び大貫駅に設置
- チーバくんカウントダウンボード点灯式（市長、飯野保育所園児参加）
- 市内公共機関、集客施設にのぼり旗設置、ポスター掲出
- 国体啓発用ポロシャツ幹旋 1, 097枚
- 市内小中学校児童、生徒にチーバくんグッズ配布
- 各種イベント、スポーツ大会に国体リーフレット、ポケットティッシュ、ピンバッジ等配布
- ボランティアによるおもてなしの花試験栽培（青堀駅東口ロータリー、市役所、ふれあい公園 2, 100株）
- 臨海野球場にて日本スポーツマスターズ2009関東大会、関東選抜軟式野球大会の開催（競技運営についての予行演習、野球場の施設整備の最終チェック）
- イベント時にチーバくんの着ぐるみを活用した国体啓発
- 千葉県主催の各種会議への参加
- 千葉県野球協会、袖ヶ浦市、君津市、館山市、南房総市とで構成する「軟式野球会場5市連絡協議会」の定例的な開催
- 選手、役員、来訪する方々の輸送について千葉県バス協会との連絡調整
- 新潟国体及び後催県事業説明会への参加
- 協賛企業の募集
- 広報ふつつやホームページ等を活用した啓発

## 3. 今後の課題と対応

- 限られた予算で、いかに市民の方々に国体周知をし、協働による大会開催といった気運の盛り上がりを持たせることができるか。（各種メディアを活用し、周知を図る。少年スポーツ大会には、親も観戦に来るので国体記念大会などの冠を付けた大会とし、優秀選手に国体啓発グッズを贈るなど少ない経費で効果のある啓発を考える。）
- 景気低迷の中、いかに多くの企業協賛を得るか。（例えば、のぼり旗を市で一括作成しそこに企業名を入れるなど、少量でも対応できる品物で個人商店等でも対応しうる方法を考える。市内企業へ直接出向き、協賛をお願いする。）
- 千葉県国体局は、選手、役員の輸送について開会式・閉会式時の対応しかないの

で、会期中の選手輸送については各市がそれぞれバス会社と交渉しなければいけない。近隣市でバスの取り合いを避けるため、南部地域の各市と、バス事業者との会合を持ち問題を解決していく。また、行政間、事業者間の調整を千葉県国体局に強く要望する。

- 選手・役員の宿泊については、配宿を担当するジョイント会社に開催市の意向を伝え、問題点を解決していく。

なお、宿泊施設に対し合同配宿センターから国体時の受け入れに関する意向調査を実施したが、時間が経過していること、会場周辺の宿泊施設の受け入れが少ないことから、22年度早々に再度意向調査を実施するよう要望した。

### 外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	A
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆめ半島千葉国体」富津市で開催される軟式野球について広く市民への周知と啓発活動に取り組んでいる。若潮国体以来37年ぶりの本市での開催をよいチャンスと捉え、子どもたちにも夢を与えることのできる大会になるよう期待したい。これを機に野球好きの子、スポーツ好きな人の広がりを期待したい。</li> </ul>

### 外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のスポーツ活動は比較的熱心で、文化活動に比べ盛んに行われている。これは、体育指導員及びスポーツレクリエーション推進員をはじめ各競技関係者等の努力により多くの方がスポーツに親しみ、市民の健康・体力づくりに寄与するとともに効果をあげている。 また、体育施設については、建設部所管のふれあい公園内の運動施設も利用しており、これを合わせると利用者は大幅に増加の状況と思われる。市民のなかには運動施設の場所さえ知らないという方がいると聞くと、あらゆる方法によりPRを図り、周知徹底される必要がある。</li> <li>・国民体育大会については、市民の関心が低いのか周知が徹底しないのか、今一步の盛りあがりに欠けている。市ならではのおもてなしを実施するためには、市民をあげての協力なしでは実現出来ないため、観光協会・商工会など各種団体と協議のうえPR活動に努める必要がある。</li> </ul>

<b>8 複合施設建設推進課</b>	<b>項目(30)</b>
--------------------	---------------

<b>(30)</b>	<b>(仮称)福祉・教育施設整備事業</b>	<b>評価</b>	<b>A</b>
-------------	------------------------	-----------	----------

### 1. 施策の基本的な考え方

本市の保健福祉活動の拠点となる健康福祉総合支援センターと生涯学習の拠点施設となる図書館との複合的な機能を併せ持つ施設を整備することにより、市民福祉の向上を図る。

#### (施策の基本的な考え方に対応した指標)

目標項目	基準年 (平成 21 年度)	目標年 (平成 21 年度)	達成状況
健康福祉総合支援センター及び図書館機能を併せ持つ複合施設の整備推進	懇談会及び検討委員会から提出された報告書を参考に、懇談会及び庁内検討委員会で更に検討し基本計画の策定を図る。	6月に基本計画発注し、完成までは懇談会にて引き続き検討、1月に基本計画素案完成後パブリックコメントを行う。3月に基本計画策定終了	予定通り、基本計画策定業務委託を行い、懇談会及び検討委員会等の意見を参考とし、基本計画の策定が完了した。

### 2. 施策展開の説明

平成21年2月の庁内検討委員会及び懇談会において作成された複合施設整備基本計画に関する検討報告書を基本として、平成21年度では懇談会及び検討委員会等で検討を重ね、基本計画(案)を作成し、パブリックコメントの実施、多方面からの意見等を参考に基本計画の策定が完了した。

今後は、複合施設の早期整備を目指して作業を進める。

### 3. 問題点

建設予定地及び周辺の土地利用については、総合的な開発を行うことが必要となることから、関係部局との調整を図り進めると共に、都市計画法に基づく法的な手続きや造成に伴う各種の業務及び作業を行うことが必要となる。

また、複合施設の整備に合わせて、管理運営方針などについて具体的な事業計画を策定する必要がある。

### 4. 解決の為の対策(今後の対応)

基本計画策定後は、更なる調査・検討を行ったうえで、事業実施に向けて

事業計画（実施計画）を策定し、施設整備の推進を目指す。

### 外部評価者（I）の意見

評 価	C
意見 ・県下で図書館が無いのは2市と聞かすが、出来てからの利用頻度、維持管理費等を含め、市民の要望調査を重視してほしい。 ・図書館（複合施設）ができるまでの間、お年寄りやパソコンの苦手な多くの人のため、「ディファレンスサービス」検索のボランティアを公民館の行政サービスとして取り入れてほしい。	

<b>9 富津公民館</b>	<b>項目(31) ～項目(33)</b>
----------------	-----------------------

<b>(31)</b>	<b>富津公民館管理運営事業</b>	<b>評 価</b>	<b>B</b>
-------------	--------------------	------------	----------

#### 1. 施策の基本的な考え方

生涯学習の基盤であり、社会教育施設の中核でもある公民館の、適正運営及び施設の充実を図ることを目的とする。

#### （施策の基本的な考え方に対応した指標）

目標項目	基準年 平成19年度	目標年 平成22年度	達成状況
施設整備	施設改修	施設充実	整備中

#### 【成果・進捗状況】

市民の自由な憩いの場や学習の場としての公民館の管理・運営を行い、また公民館運営審議会に各種事業の調査審議を諮り、サークル活動や文化活動、スポーツ・レクリエーション活動等の市民の利用促進、地域文化の向上を図った。

#### 2. 問題点

富津公民館は、昭和59年度に竣工以来、25年を経過し、施設の各所に老朽化が目立ち始めている。公民館の安心、安全な利用を図る上からも必要に応じて修繕等を行っていく必要がある。

### 3. 今後の対応

施設設備の点検チェックを行い、計画的な修理改善を図る。

(32)	成人式事業	評価	A
------	-------	----	---

#### 1. 施策の基本的な考え方

新しく成人となった青年を祝福するとともに、社会の形成者としての自覚を促し、激励する。

#### (施策の基本的な考え方に対応した指標)

目 標 項 目	基準年 平成19年度	目標年 平成22年度	達成状況
成人式参加者数	480人	410人	ほぼ計画どおり

#### 【成果・進捗状況等】

成人を祝って、富津公民館を会場とした式典を平成22年1月10日に開催して、新成人の意見発表および記念品の贈呈を行った。

平成22年の新成人該当者は536人で、内393人の出席者（出席率73.3%）があった。

#### 2. 問題点

富津市では、公民館運営審議会の審議を経て、新成人への記念品として、全体の集合写真を贈呈しているが、現在、全体集合写真を記念品として贈呈している例は、県内では、ほとんどない現状である。

また、4年前より「成人の日」の前日に開催しているが、その年によって消防出初式と重なる場合もある。この場合、消防本部と時間調整して行っているが、新成人が重なる場合も考えられる。

#### 3. 今後の対応

次代を担う新成人を祝福、激励することは、豊かな地域づくりを推進してゆく上で大事なことであり、今後も継続すべきものとする。

(33)	富津公民館学級・講座関係活動事業	評価	A
------	------------------	----	---

#### 1. 施策の基本的な考え方

市民の生涯学習に対する意識の高揚と学習意欲の向上を図り、地域文化の発

展に寄与する。

**(施策の基本的な考え方に対応した指標)**

目標項目	基準年 平成19年度	目標年 平成22年度	達成状況
学級講座数	20学級	15学級	ほぼ計画通り

**【成果・進捗状況】**

対象別（青少年・婦人・成人・高齢者等）や課題別（歴史文化・工芸・健康）の13学級・講座の開設等、幅広い公民館事業を展開し、市民自ら学んだことを生かしながら活動するサークル等、地域文化の向上を図った。

**学級・講座開催状況**

平成22年3月31日現在

	講座の名称	開催回数	参加延員	講座の主旨と内容
1	高齢者教室	7	365	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るため、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学ぶ。
2	女性フォーラム	8	190	生活に密着した問題から衣・食・住に関する様々な内容を学習すると共に、作品の製作や意見交換を通して、地域の中での交流を図る。
3	園芸教室	9	184	花や樹木の手入れ、管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作りなど、園芸技術を学習する。
4	男の料理教室	10	214	手軽に作れる日常の惣菜など、初歩的な調理技術と酒の肴など、男性ならではの実践的な料理づくりを学ぶ。
5	東京湾学講座	15	711	富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化、自然などについて、幅広い知識を学び、また探査会を実施し学習していく。
6	ヨガ教室	16	313	呼吸法を中心に、二人組での操作法によるほぐし時間を取り入れ、運動不足や生活習慣病の改善、ストレスに負けない心を磨く。
7	介護入門講座	8	101	介護の基礎的な知識と実践についての指導を通し、様々なケースの介護知識の習得と体験を通して障害者等の介護法を学ぶ。
8	健康体操教室	12	187	菜の花体操・ボール体操・リズム体操・ストレッチなどを織り交ぜた楽しい体操を通して、心と体をリフレッシュさせる。



9	わらべ歌教室	7	165	乳幼児と保護者を対象にして、子育ての中に、わらべ歌遊びを取り入れ、親子のふれあいを深める。
10	韓国語教室	15	268	日本の隣国である韓国の言語と日常会話を学び、韓国の伝統文化についても、あわせて学習する。
11	パソコン教室	5	62	パソコンの初心者を対象に、基本操作と文書作成（ワード）・表計算（エクセル）・インターネット接続等を習得する。
12	大人チャレンジ教室	1	13	日常生活の中では、なかなか体験できない伝統文化・技術などにチャレンジする。
13	鎌倉探訪講座	1	31	古都鎌倉の歴史的及び文化的遺産を訪ね歩き、隠れた鎌倉を再発見する。
	合計	114	2,804	

## 2. 施策展開の説明

公民館活動は、住民の生活課題、地域社会の共通課題を把握するなど、多様化するニーズに対応するため、最新の学習手法をとり入れ、市民に学習の機会を提供し、関連する事業を継続的計画的に展開することにより、住民の意思により自らの学習意欲の向上と、自主的なサークル運営が出来るように導くものである。

## 3. 問題点

多様化している市民のニーズに対応した学級講座の開設は、職員の人数等を考慮した場合、対応が困難な状態である。

また、公民館主催事業で、土、日を利用した館外学習を実施するとき、生涯学習バスの運行日等に問題があり、計画する上で無理が生じる場合がある。

## 4. 今後の対応

学校や地域の各種団体等と連携し、事業内容を検討し、誰もが参加しやすい環境づくりを図る。

また、館外学習を実施するときは、生涯学習バスの運行日程等の調整、或いは民間バスの利用を考慮するなどして計画する。

## 外部評価者（I）の意見

評価	A
意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな地域づくりを推進していく上で成人式は、継続して実施する方向がよい。方法、内容については、例えば親子で出席とか…いろいろ考慮する必要がある。</li> </ul>	

・公民館講座関係活動事業は、幅広い活動が展開され、地域文化の向上が図られている。

**10 中央公民館**      **項目(34) ～項目(36)**

(34)	中央公民館管理運営事業	評価	C
------	-------------	----	---

**1. 施策の基本的な考え方**

生涯学習の基盤であり、社会教育施設の中核でもある公民館の、適正運営及び施設の充実を図ることを目的とする。

(施策の基本的な考え方に対応した指標)

目標項目	基準年 H19年	目標年 H22年	達成状況
施設整備	施設改修	施設充実	整備中

**【成果・進捗状況】**

市民の自由な憩いの場や学習の場としての公民館の管理・運営を行い、また公民館運営審議会に各種事業の調査審議を諮り、サークル活動や文化活動、スポーツ・レクリエーション活動等の市民の利用促進、地域文化の向上を図った。

**2. 問題点**

中央公民館は、昭和47年度に建設された施設であり、設備は老朽化に伴い、各種保守点検及び修繕を重ねても利用者の要求に対応が出来ない箇所が毎年増加してきている状況である。

特に、消防法、建築基準法等に定められている設備や舞台関係設備に整備改善の要請を受けている状況であるため、21年度実施した耐震診断結果がIs値を満足する結果であったため、総合的に検討し早急に対応を図らなければ公民館運営に支障が生じる。

**3. 今後の対応**

施設設備の点検を行い、計画的な修理改善を図る。

(35)	市民文化祭事業	評価	A
------	---------	----	---

### 1. 施策の基本的な考え方

市民の生涯学習活動の成果を発表し、市民相互間の親睦と融和を図ることによってより豊かな文化の向上と創造の心を養うことを目的とする。

#### (施策の基本的な考え方に対応した指標)

目 標 項 目	基 準 年 平成19年度	目 標 年 平成22年度	達成状況
市民文化祭参加者数	18,027人	20,000人	ほぼ計画どおり

#### 【成果・進捗状況等】

総合社会体育館・富津公民館(埋立記念館含む)・中央公民館・市民会館の4会場で5日間実施し、作品展、保育所(園)・幼稚園の園児作品、市民による写真・絵画・書道・生花・工芸作品など1,820人、2,873点の作品、子供祭り・演劇・歌・踊りなど催し、芸能部門出演者1,378人、参観者延人数は、14,692人を数え、市民の参加、相互間の親睦と融和、豊かな文化の向上と創造の心を養うことを図った。また、新型インフルエンザの影響のため小中学校音楽の集いが中止となり、文化祭期間中の参観者が減少した。

#### 富津市民文化祭2009(平成21年度)の概要

月 日	10/30 (金)	10/31 (土)	11/1 (日)	11/2 (月)	11/3 (火)	参観者 数合計
会場及び事業内容						
総合社会体育館 (展 示) 絵画・写真・書道 篆刻・生花・絵葉書 俳画・編み物 陶芸・個人作品  文化祭ポスター、 メインテーマ 応募作品等	88	144	328	116	330	1,006

<b>富 津 公 民 館</b>	(メイン) 子どもまつり			3,500			3,500
	(芸 能) 舞踊・民謡・歌謡 気功・和太鼓 太極拳 手話ダンス フラダンス 健康体操・謡曲 エイサー太鼓 司会術 舞台照明		534				534
	(催し物) 韓国の言葉に親し もう！ 茶道会 囲碁大会 気学無料鑑定会			60		216 28 11	60 216 28 11
	(展 示) 富津公民館教室・ 生け花サークル・子 ども作品展・国際 交流協会活動展・ 富津浦相撲初代横 綱『磯風』化粧まわ し展示・小中学校 造形展・小中学校 科学工夫・論文展・ 浮書絵影サーク ル・富津市文化財 展	75	434	1,518	330	701	3,058

中 央 公 民 館	(芸 能)メイン含 山本謙司 歌謡 民謡コンサート 琴・歌謡・フラダン ス・太極拳 コーラス フラダンス 司会術 舞台照明					801	801
	(催し物) 俳句大会 短歌会 将棋大会 太巻き祭り寿司 模擬店		24	78		30 490	102 30 490
	(展 示) 陶芸・押し花 草木染め 和紙ちぎり絵 俳句・短歌 すみえ絵手紙 和紙工芸 生花・つる編み作 品 盆栽・山野草 公民館教室作品 私 公 立 保 育 園 (所)、私立幼稚園 作品 小久保藩資料展等		342	445	324	1,017	2,128

<b>市 民 会 館</b>	(メイン) 伝統芸能 獅子舞					303	303
	(芸能) 歌謡・民謡・謡曲・ 舞踊・日舞 大正琴・おこと コーラス・フラダン ス・シャンソン 詩吟・祭り太鼓 合唱 司会術 舞台照明			532			532
	(催し物) 手作りパン教室 社交ダンス		19 94				19 94
	(展示) 彫金・個人作品 公立保育所、市立 幼稚園作品 鬼泪山の国有林を 守る市民の会 新しい花づくり 七宝焼・生け花 ちぎり絵 パッチワーク・ 押花・ソーイング 折り紙・エコスクー ル		449	561	301	469	1,780
	合計	163	2,040	7,022	1,071	4,396	14,692

## 2. 施策展開の説明

市民自ら積極的に運営に参加できるよう富津市民文化祭実行委員会を設置し、各館ごとの部門別の組織により、企画・運営をすることで、手作りの文化祭とするようにした。

## 3. 問題点

毎年、事業の実施に多くの関係者の協力を得ているが、施設備品に限度があり、内容的にもマンネリ化傾向が見受けられ、参加者が限られてきた。

## 4. 今後の対応

市民文化祭の反省会を基として、開催期間の見直しや、PRの充実、近隣高校生への参加の呼びかけなど、積極的な活動を展開する。

(36)	中央公民館学級・講座関係活動事業	評価	A
------	------------------	----	---

### 1. 施策の基本的な考え方

市民の生涯学習に対する意識の高揚と学習意欲の向上を図り、地域文化の発展に寄与する。

#### (施策の基本的な考え方に対応した指標)

目標項目	基準年 H19年	目標年 H22年	達成状況
学級講座数	14学級	17学級	計画通り

#### 【成果・進捗状況】

対象別（青少年・婦人・成人・高齢者等）や課題別（歴史文化・工芸・健康等）の15学級・講座の開設等、幅広い公民館事業の展開や、市民自ら学んだことを生かしながら活動するサークル等を支援することにより、地域文化の向上を図った。

#### 学級・講座開催状況

平成22年3月31日現在

	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	ピッコロ学級	8	230	幼児の心身の発達、健康についての講義や移動学習、集団での遊びの実習。
2	シルバー生きがい学級	8	182	高齢者がいきいきと生活できるように、健康についての講義、軽スポーツ・レクリエーションや実習、社会見学等を交えながら学習していく。

3	さわやか女性セミナー	10	317	暮らしに役立つ課題や社会情勢などについて、見学、講義、実践を行いながら学習する。
4	折り紙教室	8	53	伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学ぶ。
5	クッキング教室	10	89	化学調味料をなるべく使わない体にやさしい料理を学ぶ。
6	ヨガ教室	24	609	ヨガを通じて体と心の健康増進を図り、健康の維持に役立てる。
7	フットマッサージ教室	9	61	体のあらゆるツボが集中する足裏の指圧法を通じて、東洋的健康法である足操術を学ぶ。
8	読み聞かせボランティア入門講座	4	23	読み聞かせボランティアの未経験者を対象に本の読み聞かせの技術について実践を交えながら学習していく。
9	携帯電話の使い方教室	4	49	中高年を対象に携帯電話を気軽に利用できるようにし、生活の利便性を拡大する。
10	パソコン教室 (IT講習)	12	201	文書や表の作成、インターネットの接続と利用、年賀状作り等テーマごとに初心者向けの基本操作を学習する。
11	外国人のための日本語講座	24	270	在日外国人が日本で生活するうえで言葉の壁を少しでも減らし、地域の人とのコミュニケーションがとれるようにする。
12	こどもチャレンジ教室	3	92	創作や体験を通じて自発性、活動性、創造性を育てる。
13	中国語入門講座	17	184	日本の隣国である、中国の言語と日常会話を学び中国の伝統文化等をあわせて学習する
14	リンパ流健康教室	9	171	汚れた血液を心臓に戻すため、リンパを流し、筋肉疲労をとり、血液を良くして、未病の予防を学習する。
15	いきいき健康体操教室	9	104	自分の体の状態と弱点を知り、身の周りある用具を使って、弱点を克服する体操を学んだり、グランドゴルフ・レクゲームを行ったりして心身の健康増進を図る。
	合計	159	2,635	

## 2. 施策展開の説明

公民館活動は、住民の生活課題、地域社会の共通課題を把握するなど、多様化するニーズに対応するため、最新の学習手法をとり入れ、市民に学習の



機会を提供し、関連する事業を継続的計画的に展開することにより、住民の意思により自らの学習意欲の向上と、自主的なサークル運営が出来るように導くものである。

### 3. 問題点

多様化している市民のニーズに対応した学級講座の開設は、職員の人数等を考慮した場合対応が困難な状態である。

また、公民館主催事業で、土、日を利用した館外学習を実施するとき、生涯学習バスの運行日等に問題があり、計画する上で無理が生じる場合がある。

### 4. 今後の対応

学校や地域の各種団体等と連携し、事業内容を検討し、誰もが参加しやすい環境づくりを図る。また、館外学習を実施するときは、生涯学習バスの運行日程等の調整、或いは民間バスの利用を考慮するなどして計画する。

#### 外部評価者（I）の意見

評 価	B
意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化が進んでいる。冷暖房設備から窓のブラインド修理等、市民が気持ちよく安全・安心な利用が図れるよう早急に改修が必要である。</li> <li>・生涯バスの運行日程等の調整については、更に計画を推進してほしい。</li> </ul>	

11 市民会館	項目(37)～項目(40)
---------	---------------

(37)	市民会館管理運営事業	評価	B
------	------------	----	---

#### 1. 施策の基本的な考え方

市民の実際生活に即する教育、学術及び文化事業を行い、教養の向上、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するための拠点施設の管理、充実を図ることを目的とする。

(施策の基本的な考え方に対応した指標)

厳しい予算内で、単年度予算要求で対応している通常の維持管理事業である。

基準年 平成19年度  
 目標年 平成22年度  
 達成状況 どちらかと言えば計画どおり進んでいる。

## 2. 施策の展開の説明

地域の生涯学習の拠点として、多様化するニーズに対応するため施設の管理運営に取り組んでいる。

又、利用状況については15教室講座40サークルの他に地域の市民及び各種団体等に利用されている。

## 3. 問題点

平成元年7月築造施設であるが、施設の老朽化も目立つことにより年々維持費の増加が見込まれる。

今年度は1月にホールの内壁の一部が崩落し、やむを得ず5月末まで使用停止とした。その間、他の公民館等の協力を得てサークル活動などを実施した。(5月末に工事完了予定)

また、大きなイベントがある場合、駐車場が狭く苦慮している状況である。

## 4. 解決の為の対策(今後の対応)

市民が気持ち良く安全、安心、便利に利用していただくため老朽化部分の施設改修を継続実施していく必要がある。

駐車場については、近隣の民間駐車場等を貸していただく外、分館の撤去も含め検討していく必要がある。

(38)	峰上地区公民館管理運営事業	評価	B
------	---------------	----	---

## 1. 施策の基本的な考え方

市民の実際生活に即する教育、学術及び文化事業を行い、教養の向上、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するための地域生涯学習の拠点施設の維持管理を図る。

(施策の基本的な考え方に対応した指標)

厳しい予算内で、年度計画を以って推進している維持管理事業である。

基準年 平成19年度

目標年 平成22年度

達成状況 どちらかと言えば計画どおりに進んでいる。

## 2. 施策展開の説明

地域の生涯学習の拠点として、多様化するニーズに対応するため、施設の維持管理運営に取り組んでいる。

## 3. 問題点

昭和38年9月開設の木造2階建ての施設であり、施設の老朽化も著しく年々維持費の増加が見込まれる。

## 4. 解決の為の対策(今後の対応)

厳しい予算内で、計画的な維持修繕をする必要がある。

(39)	市民会館学級・講座関係費	評価	A
------	--------------	----	---

### 1. 施策の基本的な考え方

市民のため各種教室、講座を実施し、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、生涯教育の充実を図る。

#### 【成果・進捗状況等】

市民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、社会福祉を増進し、地域住民のくらしと文化の向上が図られた。

#### ○ 平成21年度教室・講座開催状況

平成22年3月31日現在

講座の名称	開催回数	参加 延 人 員	講座の趣旨と内容
1 歴史探訪講座	9	166	地域の歴史を、文化、自然、人物、史跡などから発見、学習する。
2 パソコン教室	6	40	文書や表の作成、インターネットの接続等パソコン操作の初心者向け講習会。
3 子どもダンス教室	11	136	リズム感を養いながら、音楽に合わせて体を動かし、ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。
4 煎茶道教室	9	33	玉露、煎茶、紅茶、番茶の点前をとおして、作法、所作を学ぶ。
5 折り紙教室	9	96	指先を使うことによる脳の活性化を図ると共に、一つの紙片から作

				られる芸術を折り紙づくりから学ぶ。
6	スローライフ 楽塾	9	7 2	団塊世代を含め新たなライフスタイルを探求したい方を対象に、インドア・アウトドアを問わず様々な体験を通して学ぶ。
7	健康増進教室	2	4 2	ハイキングやウォーキングにより、地域探訪をしながら心と体のリフレッシュを図る。
8	バラエティ 料理教室	7	7 6	和洋中華、アイデア料理など幅広い料理作りをし、併せて調理器具の使い方を学ぶ。
9	エコ・スクール	9	1 6 8	自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイクル等の学習や現地視察を行い、幅広く学ぶ。
10	子どもチャレ ンジ教室	4	2 8	家庭や学校では体験できない様々な学習を通して、自主性・社会性・創造性を育てる。
11	シルバー生き がい学級	7	4 3 5	高齢化が進むなか、レクリエーションや学習を通し、参加者がふれあえる場を作り、仲間づくりをする。
12	初めての英会 話教室	8	3 5	英会話の初心者を対象とした日常英会話を学習する。
13	新しい花作り 教室	9	1 9 3	主に園芸店等で売られていない四季の花々の育て方を学ぶ。
14	証券学習講座	6	7 6	初めて「経済」や「金融」を学ぶ方を対象とし、難解な経済、金融の仕組みや用語を解説しながら「お金の流れ」や「自分でお金を守る」など新時代のマネーライフを学習する。
15	和菓子教室	9	1 9 5	日本古来から伝わる和菓子作りを、基礎から学ぶ。
	計 15 教室講座	1 1 4	1, 7 9 1	

(施策の基本的な考え方に対応した指標)

市民の生涯にわたる学習意欲の高揚を図り、一人ひとりのライフステージに応じた様々な学習活動を支援するため、市民ニーズの把握に努めると共に各種情報の提供、講座の開設などを推進する。

基準年 平成19年度

目標年 平成22年度

達成状況 計画どおりに進んでいる。

## 2. 施策展開の説明

地域における市民の主体的学習活動を支えると共に、地域課題を取り入れた教室、情報提供など学習内容の高度化、多様化を図りながら地域の人材活用、社会教育指導員の指導を得ながら展開している。

## 3. 問題点

- ・もっと多くの市民の参加を期待する。
- ・教室によっては、定員以上の申込みもあり講師が少ない。

## 4. 解決の為の対策(今後の対応)

- ・PRの充実-----現受講生からの勧誘
- ・人気講座の講師不足-----熟練受講生の活用

(40)	市民会館文化事業	評価	A
------	----------	----	---

## 1. 施策の基本的な考え方

市民の文化的、芸術的感性を養い、活力に満ちた意識の高揚を図る。

### 【執行内容】

本年度においては、富津市教育振興事業補助金として、富津市民文化事業「ふつつ学びの門」実行委員会に交付した。

文化事業を隔年実施している。

平成21年度実施 観覧者数 594名 (場所 富津公民館 ホール)

(施策の基本的な考え方に対応した指標)

市民の文化的、芸術的感性を養い、活力に満ちた意識の高揚を図る。

基準年 平成19年度

目標年 平成22年度

達成状況 隔年実施であるが、好評を得ている。

## 2. 施策展開の説明

絵画、彫刻、音楽、演劇等の各種文化芸術誘致実施のため、積極的な文化活動実施団体に交付金を交付し、市民文化、芸術の振興、高揚を促進する。

## 3. 問題点

各年実施のため、市民の文化的、芸術的感性及び意識の高揚への効果が限定的とも言える。

## 4. 解決の為の対策(今後の対応)

文化芸術振興財団や県の補助、人材派遣を受け幅広い芸術の提供をし、市民による芸術団体、人材の有効的な育成を図るため毎年実施できないかどうかの検討が必要である。

### 外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	B
意見	
・地域の生涯学習の拠点として、多様化するニーズに対応するために、管理運営に苦慮して取り組んでいることが理解できる。	
・施設老朽化に伴い、維持管理、修理費の増加を優先にお願いし、サークル活動、生活文化振興、社会福祉活動がますます充実して行えるようにしてほしい。	

### 外部評価者（Ⅱ）の意見…富津公民館・中央公民館・市民会館

評 価	B
意見	
・3施設の活動は、生涯学習に対する学級講座の開催状況、講座数及び講座内容等ほぼ同様で良好な状況にあり、自ら学んだことを生じながらサークル活動のなかで、地域文化の向上に寄与している。	
・施設については、3施設各々建設年度の相違はあるものの、設備は老朽化に伴う修繕等経費が年々増加傾向にあり計画的な実施計画により改善に努力されたい。	

<b>12 教育委員会の広報活動</b>	<b>項目(41)</b>
----------------------	---------------

(41)	<b>教育かわら版の発行</b>	<b>評価</b>	<b>B</b>
------	------------------	-----------	----------

### 1. 施策の基本的な考え方

従前から、広報ふつつ等を活用して適時広報活動を展開してきたが、教育委員会が日頃行っている業務等について、市民に理解していただくために、平成20年度から「教育かわら版」を区長回覧を通じて全戸配布している。今年度も、3～4号の発刊を目指す。

### 2. 実施状況

8月・12月・3月に計3号（通刊7号）発行した。

### 3. 成果と課題

開かれた教育委員会を目指す姿勢や、各種制度の解説などについて一部の市民からは高評価をいただいている。かわら版発行のための特別の予算措置や人員配置ができないため、業務増につながっているのも事実だが、今後も見やすい紙面づくりに努め市民サービスの向上に寄与したい。

#### 外部評価者（Ⅰ）の意見

評 価	A
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の教育施策、教育委員会の業務、各種制度の解説等、予算措置のない中読みやすい紙面づくりに努めており、学校現場のみならず、広く市民にも現行の教育課題を理解するところとなるのではないかと。</li> </ul>

#### 外部評価者（Ⅱ）の意見

評 価	B
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形骸化が指摘されているなかで、開かれた教育委員会を目指す観点から、かわら版の発行は大変良いことと評価します。</li> <li>今後、更に見やすい紙面づくりに努め、市民に情報を提供し理解を得るため事務量の増につながり厳しい面もあろうかと思いますが、市民サービス向上のため努力を願います。</li> </ul>